

## 議会改革・活性化調査特別委員会記録【概要】

1 日 時 令和6年9月25日（水曜日）

午前 10時00分 開 会

午前 10時59分 閉 会

2 場 所 第2委員会室

3 出席委員

委員長	伊藤優子	副委員長	神野恭多
委員	片平恵美	委員	黒田真徳
委員	合田晋一郎	委員	藤田誠一
委員	山本健十郎	委員	高塚広義
委員	伊藤謙司	委員	大條雅久

4 欠席委員 な し

5 説明のため出席した者 な し

6 議会事務局職員出席者

局長	山本知輝	課長	徳永易丈
副課長	鴨田優子	係長	伊藤博徳
係長	村上佳史		

7 その他出席議員 議長 小野辰夫

8 本日の会議に付した事件 (1) 議会改革・活性化に関する調査

9 概 要

（委員長）本日の委員会は、議会の広報広聴に関すること及び議会の組織構成に関することについて、協議いただきたい。

まず、議会の広報広聴に関することについて、協議をお願いする。市議会だよりの一般質問要約掲載についてである。前回の委員会で皆さんから意見をいただき、B案とC案にしぼり協議することになった。B案とC案について、事前に資料を配布したが、この資料について議事課長から説明させる。

（議事課長）議会だよりの見直し案のB案C案については、事前に委員の皆さんに案内をしているが、再度説明をさせていただく。B案は従来通り、質問者全員の質問要旨と、質問時間30分以上の議

員の2項目以内の質問、答弁を掲載し、それに加えて、紙面の右上に二次元コードを付けて市議会ホームページに飛ぶようにしたもので、ページ数は現在と変わらず4ページとなる。C案は質問者全員の質問要旨のみを掲載し、質問、答弁は掲載せず、紙面の右上に二次元コードを付けて市議会ホームページに飛ぶようにしたもので、ページ数は2ページとなる。B案C案の二次元コードのリンク先については、市議会ホームページの一般質問通告要旨のページとして、新たに議員ごとに、一問一答の場合は大項目ごとに会議録ファイルを作成し、一括質問の場合は一つのファイルを作成し、閲覧ができるようにする。質問要旨の右端の会議録の文字を長押しすると、該当部分の会議録が開くので見てほしい。タブレットやパソコンで見ると会議録が縦長となっているが、スマホで見たときに見やすいレイアウトとなっている。

(委員長) それでは、協議に入る。ただいま議事課長から説明があったが、B案は、従来の内容に加えて紙面の右上に二次元コードを付けて市議会ホームページに飛ぶようにしたもので、C案は、質問者全員の要旨のみを掲載し、紙面の右上に二次元コードを付けて市議会ホームページに飛ぶようにしたものである。各党派等で協議していると思うが、B案とC案、どちらがよいか皆さんから意見をお願いします。

(委員) B案のいままでのとおりでQRコードを付けるといいと思う。

(委員) C案で進めたいと思う。理由は、B、C並べたときにどちらを読みたいかということ。文字がいっぱいになるとなかなか目に入りづらいこともあり、本当に見たいところはQRでとんでいく形で、なおかつページ数削減ということなので他に、議会だよりを発行していない新居浜市としてそういった活用も今後視野に入れられるのではないかとということでC案でお願いしたい。

(委員) 党派で再度話し合ったが、前回通り既設の4ページという点とQRコードで市のホームページに飛んで確認もできるということなので、それで公平性が保てると思うので、B案でお願いします。

(委員) B案で。それと、2ページ、4ページと言っているが、議会だよりを出していないので予算的にコロナの時に200万余って、行政から言われぬのに議会から率先してやって、6ページに増やしてもどうということはないと思う。

(委員) 全員の分を載せてほしいという希望があったが、BかCかで選びなさいと言われたら公平性を考えるとCだと思う。

(委員長) 意見が2つでて、まとまらないので、現行どおりとしたいと思うが、B案であれば、現行の内容にプラスして、二次元コードから市議会ホームページに飛び、議員ごとに一般質問部分の会議録を見ることができるが、いかがか。

[ 了 承 ]

(委員) 党派で最終説明するとき、従来通りという説明ではよくわからないので、理由を教えてください。

(委員) 少し個人的な意見になるが、高齢の方はQRまでできない方がいたら、C案だったら答弁がないので何を書いているかわからない。高齢の方にはB案の方が、全部が全部答弁はないが、一部答弁がついているのでわかってもらえると思う。みんながQRを使えるとは限らないので。

(委員長) それでは、B案を議会運営委員会に提案することにする。

次に、議会の組織・構成に関することについて協議をお願いする。議員定数及び議員報酬についてである。議員の皆さんに協力いただいたアンケート結果について、事前に資料を配布したが、この資料について議事課長から説明させる。

(議事課長) 議員定数、議員報酬に関するアンケート調査結果について説明する。今回、全議員から回答をいただき、議員定数については、現状のままでよいという意見と、削減したほうがよいという意見がそれぞれ一定数あった。現状のままでよいという主な理由としては、多くの市民の声、多種多様な意見を反映させるためには現状の議員数が必要、削減したほうがよいという主な理由としては、人口減少に伴い人口規模に応じた議員数とする、であり、削減人数については、1人から6人まで意見が分かれている。次に、議員報酬については、現状のままでよいと増額したほうがよいが、それぞれ一定数あり、減額したほうが良いという意見も少数ある。増額したほうがよいという主な理由としては、議員のなり手不足、賃金・物価の上昇への対応が上げられている。また、増額したほうがよいと回答した議員については、皆さん、議員定数は削減したほうがよいと回答しており、議員定数削減と議員報酬見直しはセットで考えるべきとの意見も複数出されている。

(委員長) それでは協議に入る。各会派等で協議していると思うが、まず議員定数について皆さんから意見ををお願いする。

(委員) 基本的には削減する方向で考えているが、人数に関してはそれぞれいろんな思いがあるので、会派内では実はまとまりきれっていない。これは最後までまとまらないのではないかと考えている。

(委員) 前回からアンケートを見ながら皆さんの意見を聞いたが、幅広く市民の声を聞くということが一番大事で、地域から選出された議員がいるということで、相談事も持ちかけていただけるとのこと、いろいろな市民相談をしている中で、議員定数が多いという声も聞いたことがない。市民からの盛り上がりやそういうことも私自身は議員定数という話は聞こえてこないもので、現状のままでいいと、4人の意見もそうだった。

(委員) 議員定数についてだけど、現状がいいという人が多いが、過去ずっと定数を押さえてきたから、1名か2名くらいは必要だと。その代わりに、議員報酬は昨今新聞を見てもかなり各議会とも低い高いは別としてあがってきている。この2年くらいは3%から5%くらい一般賃金も上がってきている。そういう中で報酬は2、3万上げるという方向で、今の状況ではおかしくないと思う。報酬と定数はセットという話はよく聞くが、セットというより今さっき言ったような背景が社会通念上起こってきているわけで、今年もおそらく社会では上昇すると思う。

(委員) 議員定数の削減には反対である。市民の声が届きにくくなるということと、議員の定数を減らして報酬を上げたら若い人が立候補するという意見があるが、どう考えても定数が少ないところと多いところを考えて初めての人がそこにチャレンジしようと思うかということ、定数が減った方がチャレンジする気持ちが削がれると思うが、若い人や女性にどんどん立候補してほしい、議員にチャレンジしてほしいということであれば、やはり定数削減はするべきではないと考える。議員報

酬については、報酬を増やすために削減するというのではないと思うが、もう少し市民の懐具合がしっかり温まるまでは、議員報酬を増やすことは考えられないという風に話をしている。

(委員) 今、会派ごとに話している。なかなか会派でまとめるなんて無理な話をしていると思う。会派の中でも個人個人考え方が違うので。まとめるとして、この委員会でどういうまとめ方をしていくか気になるので、教えてもらいたい。

(委員長) 一応会派でまとめてもらい一致したらよい方向に向かうのではないかと考えているが、一人一人の、いろんな会派によって意見も違うように思う。今回は、もう一回会派に持ち帰って話をし、まとまらなかった場合は、特別委員会を離れて話をすると私は思っている。

(委員) さっき言われていた報酬と定数というのはワンセットという考え方でいっていたらもっとまとまらない話になってくるので、できたら分ける方がいいと思う。会派に持ち帰るとしても。

(委員) 今回の議員定数、報酬に関しては、会派でまとめるべきものではないというか、まとまらないと思う。この議会改革・活性化調査特別委員会ができたので、この委員会の中だけでまとめたらいと思う。最終的にはここで決まるわけではないので、この委員会の中ではある程度意見を、一応会派から来ているが会派の意見を聞きながらこの委員で結論を出して決して委員会の中で結論を出すべきだと思う。

(委員) つけ足しになるが、せっかく特別委員会を立ち上げたので、一つの形は作らないといけないうと思う。それが、どういう形かであるが。最終的に議会に議案として出すところだと思う。減らす、増やすとかという議論なのか、一人とか二人とか三人とか、全てを含めた形かどういう形で議案として出せるかというのをこの委員会で最後までもむべきじゃないかと思う。

(委員) さきほど出た中で定数の問題と報酬の問題はセットっていうのは、結果的には兼ね合いはあると思うが、あくまでセットで考えるというのは難しいというか、こだわらなくていいと思う。そんな中で二つのテーマに二次関数を三次関数にするみたいで申し訳ないが、報酬の話をするときに、政務活動費の話は一緒に議論に出しておいた方がいいと思う。ここは議論する場でここで決められないが、議論を広める意味では政務活動費のことは一緒に考えてほしいと思う。そんな中で、改めて新居浜市の政務活動費の根拠になっている新居浜市議会政務活動費の交付に関する条例、平成13年に最初の制定があって変更の最後が平成29年6月なのだが、金額のほかに根拠になっている政務活動費を支払う根拠になっている第5条なのだが、短いので読ませてもらう。政務活動費は、会派が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付する。何が言いたいのかと言うと、調査研究研修はまさに今、支払いの対象になっているが、議員が活動する上での広報、広聴、住民相談、そして陳情を受けることに関しては金額的なサポートができるような支給状況になっていない。だから、市内活動費みたいな通常の民間企業でも、役所で言う市内出張費がない。だから、使い方と同時に金額について考えてほしいと思う。住民相談や陳情要請を受けるとき動くのは、活動費は実質は報酬から出している。ガソリン代にしる文書通信費にしる。でも、第5条の規定からすれば、政務活動費の対象になる項目かと思う。だから、結論としては、月額18,000円という政務活動費の増額というのは考えてもいいのではないかと考えている。

(委員) いずれにしても委員会で議論しないと個々では難しい。議事課長から過去の経緯、いつから報酬は上がってないかとか、過去どういう形で報酬を上げてきたかとか説明してもらったと思う。

(議事課長) 前回の委員会で配布した資料について説明する。一番下の段の新居浜市議会での議員定数削減の状況である。平成19年5月から30人を28人に、その後平成23年5月に28人から26人に二人削減し現在に至っている。13年ほど現在の定数で来ている。続いて議員報酬の改定であるが、平成18年4月、492,000円。平成22年4月、1,000円減の491,000円、平成27年4月、10,000円減の481,000円。平成28年4月、プラス1,000円の482,000円となり現在に至っている。現在、6年目になる。そして、平成18年4月、6,000円減の492,000円になっているが、そのひとつ前が、10年遡り、平成8年12月、498,000円がこれまでで最も多いものである。その後、10年経って平成18年4月に6,000円減の492,000円となっている。今の資料の一つ前のページに類似団体の議員定数議員報酬の資料がある。

(委員) 今治市と新居浜市がだいたい同じで千円ちがいくらいでずっときていた。今治市は合併して人口が増えたが、変わらずきていた。そのあと、説明にあったように千円くらい下げた。定数も下げるような話があったが、現状でいこうと来ている。全体から見たら最近各議会とも削減が増えてきた。そんなに新居浜市が他の行政と比べたら悪いことはないと思う。26人でいっても悪いことはないと思う。これも言いかけたら歯止めが利かなくなるのは困る。そこは皆さんきちんと考えて。昔は2年に1回くらい市民から議会に陳情に来て会を何回もしたこともある。その都度、そういうことにならずに来たが、最近皆さんも知っている15年かそこくらい何もない。それは、理解をさせていただいているのだと思う。

(委員) 先ほど削減の過去の経緯だったり、議員報酬の過去の経緯があったが、その背景も参考になると思うので、資料がもらえれば次の参考にしたい。

(委員) 過去の経緯とか県下の状況、類似団体の状況を資料として集めるのなら、確認をしたいのだが、定数削減は平成15年に34人から30人に減らしたんだよね。私は、平成15年の市議会議員選挙で初めて議員になったので、以前34人、もっと古くから言えば地方自治法で議員定数の目安があって36人からスタートしたと記憶しているが、平成15年の4人減らしたことを記録の上で認識したほうがいいと思う。それと、個人の意見になるが、報酬のアンケートのたびに私が書いているのは、平成15年5月から議員をしているので、議員になった時の報酬は額面で言うと498000円であった。20年前にももらった報酬が3回下がって1度あがったが、未だに20年前よりか少ない。減らした理由が理解できない、そんなものかとかこれまできた。

(委員) 26人のアンケートを見て、真摯に増やすか現状でいいか、何人くらい減らしたらいいか、ささっとはやってないと思う。現状の自分の得票率とかいろんなことを考えたり、今後少子化になったりすることを考えて、現状のままがいいが12人、削減したほうがいいのが14人、削減数はいまからだと思うが、民主主義としたら14対12なのでそれも踏まえて委員会で揉んでほしい。

(委員) 皆さん意見があるが、他の委員がやっぱり会派ではまとめきれないと言われていたので、  
どういう風に意見を持ち寄るのかということを決めておいた方がいいと思う。

(委員長) まだ話し合いをしていないので、こうなったときにああするこうするという話がまだできていない。わたしとしてはもう一度話し合っただけの時に決めていきたいと思うが、会派でまとまらなかった場合は、個人で出すか、せつかくこの会を立ち上げたのでこの会でまとまるならそれが一番いいと思う。多数にした場合は皆さんまとまるか。それと、議員報酬については、何々市がいくらで何々市が何人という資料を見ていたら結構新居浜市は、他の市より悪い数字ではない。20年前よりは少し下がっているが、他の市に比べたら高い方だという気がしている。あとひとつ、議員定数と報酬はセットじゃないと言うが、愛媛県内の議員定数を削減したところによると、4人減らしたから、減らした分の200万円をみんなに分けるといいう形が新聞などで見ると多い気がしている。定数を削減しないと報酬の増額はなしかなという気はしている。それと、他の市に比べて新居浜市は高いじゃないかと言われたら、なかなか市民の皆様には皆さんが説明がしづらいと思う。でも、20年前の498000円くらいに戻すのは、今給料を上げないといけないというところで市民の皆様にも理解していただけるのかなと思っている。だから、なかなか意見はまとまりにくいけど、もう一度会派に持ち帰り話し合っただけでまとまらなかった場合、個人で出すか、そういう運動をしていくか。皆さんは市民の意見を聞いていないと言うが、市民は削減したらいいと思っている。意見も聞く。だけど、署名運動までしてやろうとする市民は最近いない。

(委員) 方針に関しては今委員長が言ったのと同じ考えだが、定数に関してはわたしも削減するのよねという意見を個人的にはよく聞く。するという前提の話をよく聞くが、委員会で人数まで決め込むのは無理だと思うが、全国を調べたわけではないが、見る中ではこういった委員会の中で人数まで決めきれないので議案を複数出す。4、3、2、1、0まで出すかはわからないが、その中で決をとっていくという方法があるので最終的にはそういった方向で、この委員会の中で何かしらの結論を出すべきだと思う。

(委員) 報酬に関しては最終的に議会自身には決定権がないから、報酬審議会に議会の考え方を示すということかと思う。それを妥当と思っていただいたら回答が来るのだと思うが、議員26人全員やっぱりかわることなので、一人一人考えていただくための資料としては、さきほども申し上げた政務活動費についても、他市の状況も必要なら、今見ている前回の表に各市の政務活動費。20年前私の記憶だと四国中央市もできたばかりだったが、四国中央市には政務活動費がなかった。それが、松山や新居浜、今治の事例から見て政務活動費を設けた市も増えているので、金額を含めて状況も一緒に比較、参考資料としてはあってもいいと思う。

(委員長) この委員会を立ち上げたときに政務活動費については検討項目となっていない。だからもしそれを加えるとなったら、定数削減とか報酬については一定の結論は出すが、政務活動費についてはそれからという話になると思うが。それでいいか。

(委員) 委員長の言う通りでいいと思うが、この報酬で厚生年金を引かれていた時にいくらだったと思うか。収入として入ってくるのは330,000円くらいしかなかった。60歳が来て企業年金をもらいだして、なんとか活動ができるなというくらいなので、高いということはない。

(委員長) それと国保も払わないといけないので、もっと報酬は減ると思うが、それは市民の方には理解していただけないと思う。

(委員) ここで、せっかく特別委員会ができたのだから、ここで提案をしないと。先だって2名削減したときに、4名削減という方もいた。しかし、それはちょっとということで議論をしている中で2名になった。そういうことで、個々に議案を出すことはできるが、せっかくここに委員会があるのでここで十分議論して。最終的に、身分保障のことなので会派でもまとまりにくいけど、ある程度まとめないと仕方がないのではないか。

(委員長) 皆さんの意見もあったので、この委員会の中で人数とか削減するかしないかという点では、まとめていきたいと思う。先ほど言われた政務活動費に関しては、まだ決められてないということもある。

休 憩 午前10時42分

再 開 午前10時48分

(委員長) もう一回持ち帰って、すでに会派で話し合ってくれているところもあるが、まだ話し合っていないところもあるので、皆さんの意見としたらこの委員会の中で結論を出すという形がいいという意見があるので、そういう形に持っていくようにしたいと思う。本日はこれにて閉会する。